

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成13年1月20日発行(毎月1回 20日発行)
物 性 研 究 第75卷 第4号

ISSN 0525-2997

vol.75 no.4

物性研究

2001 / 1

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行いません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 物性研究に掲載される論文の著作権は、物性研究刊行会に帰属することとします。
4. 本誌の論文を欧文の論文中で引用される時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) **73** (1999), 1. のように引用して下さい。

[原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
 - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率86%)
 - 2) マージンは、上下各約3cm、左右各約2.5cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
 - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
 - 4) 図や表は、本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 手書き原稿の場合の原稿作成要領については、刊行会までお問い合わせ下さい。
6. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧くださいか、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

★「修士論文」募集★

本誌では、各大学の物性分野の修士課程修了者の研究内容を紹介しています。今回も2000年度の修士論文を募集します。学術的に価値の高いもの、研究内容がユニークで面白いもののほか、研究は完成していないが今後に興味ある問題提起を含むものや、Review 的な力作など、特色のある修士論文を投稿して下さい。

1. 募集締切：2001年3月30日（金） [締切厳守]
2. 自薦、他薦は問いません。
3. 論文のコピーを2部 お送り下さい。
4. 4月以降の連絡先を明記して下さい。E-mail アドレスをお持ちの場合は、ご記入下さい。

積極的な投稿を歓迎しますが、掲載の可否については編集委員会にご一任下さい。例年、判断基準として、論文の内容および分野間のバランス等を考慮しています。尚、掲載が決定した論文については、次のような対応を取らせていただきます。

1. 原則として、英文の修士論文は日本語に訳していただきます。
2. 枚数の多いものは、簡潔な内容に縮めていただく場合や、写真印刷の都合上、体裁を整えていただく場合があります。
3. 現在のところ、本誌はカラー印刷はできません。カラー図版をご自分のホームページに置いていただければ、「物性研究」のホームページからリンクをはることができます。また、図を他の印刷物から転載している場合は、転載の許諾を著者ご自身にお願いすることになります。
4. 掲載された論文の著者には別刷50部を寄贈します。

[問合せ&送付先]

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物性研究刊行会

Tel: (075)722-3540, 753-7051

Fax: (075)722-6339

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

編集後記

ついに新世紀の到来を迎えることとなりました。子供心に夢のような世界の代名詞として刷り込まれた二十一世紀が現実の時となりましたが皆様方の鼻先には新しい時代の香りが到来いたしましたでしょうか。昨年の Y2K 騒ぎを思い起こせばいささか静かな新世紀の幕開けだったのではないかと思います。障害発生流言に振り回された昨年とは違い、千載一遇の機会を利用してなんとかこの閉息感から立ち上がろうという思いを込められた数々の催し物が、無策のツケと構造変革への産みの苦しみに喘ぐ世の中の悲鳴のような叫びを感じさせてくれました。京都では二十世紀を見送る五山の送り火なる行事やその他諸々のイベントコンサート等が市街地で行われましたが、大晦日当日は人々の思いをあざ笑うかのごとくの悪天候に見舞われ、着くか着かぬかと全く落ち着かない年の瀬でした。幸い点火時刻には雨も上がり視界も晴れて無事世紀の送り火が灯り、私宅界限で人込みに揉まれながら二十世紀に別れを告げることとなりました。

私ごとき者が旧世紀新世紀の有り様を語るのは不遜以外の何物でもないでしょうが、旧世紀を代表する学問であった物理学が果たして新世紀にもその存在感を保持し続けられるのか疑念を持たない方はおられないのではないかと思います。この畑からまだ新しき息吹が芽生えてくるのか、はたまた旧世紀の物理学が培ってきた技術や方法論を使って何かを調べるだけの（学問？）分野の総称と成り果てるのか。昨今耳にする話には他家の畑で収穫されていた○×が自家の物理系でも観測された、万歳、の類いも多く、自然との対話を通して色々なことを学んできた我々の目の前に新しい光明が射してくるのはいったいいつどこの出来事になるのか私ごとき凡人にはさっぱり見当も付きません。一方本質から懸け離れたところで繰り広げられる構造変革の嵐が我々をも巻き込んで、世間を攪乱しています。乱れ切った流れに翻弄される一葉としてでも参加していなければ光明が射すその瞬間を味わうことはできないのでしょうか。一度丘に上がって流れの全容を眺めてみることも大切なことではないかと思います。小誌がその休息のお役にたてるようなオアシスとなれば幸いです。背後で流れている Pergolesi の Stabat Mater のような清楚な香りのただよふ時空間に憧れる毎日です。

（一言居士）

[物性研究]

編集長

早川 尚男 (京大・人環)

編集委員

佐々木 豊 (京大・理・物理)

藤本 聡 (京大・理・物理)

水口 毅 (京大・理・物理)

加藤 将樹 (京大・理・化学)

Manfred Sigrist (京大・基研)

森成 隆夫 (京大・基研)

小嶋 泉 (京大・数研)

各地編集委員

津田 一郎 (北大・理・数学)

本堂 毅 (東北大・理・物理)

佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)

堀田 貴嗣 (東大・物性研)

出口 哲生 (お茶の水大・理・物理)

山田 鏑二 (信州大・理・物理)

平田 文男 (分子科学研)

倭 剛久 (名大・理・物理)

池田 研介 (立命館大・理工・物理)

関本 謙 (京大・基研/在フランス)

菊池 誠 (阪大・理・物理)

市岡 優典 (岡大・理・物理)

吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第 75 卷 第 4 号 (平成 13 年 1 月号) 2001 年 1 月 20 日 発行

発行人 関 本 謙

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

印刷所 昭和企業組合
昭和堂印刷所

〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側
TEL(075)721-4541~3

発行所 物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

[物性研究]

編集長

早川 尚男 (京大・人環)

編集委員

佐々木 豊 (京大・理・物理)

藤本 聡 (京大・理・物理)

水口 毅 (京大・理・物理)

加藤 将樹 (京大・理・化学)

Manfred Sigrist (京大・基研)

森成 隆夫 (京大・基研)

小嶋 泉 (京大・数研)

各地編集委員

津田 一郎 (北大・理・数学)

本堂 毅 (東北大・理・物理)

佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)

堀田 貴嗣 (東大・物性研)

出口 哲生 (お茶の水大・理・物理)

山田 鏑二 (信州大・理・物理)

平田 文男 (分子科学研)

倭 剛久 (名大・理・物理)

池田 研介 (立命館大・理工・物理)

関本 謙 (京大・基研/在フランス)

菊池 誠 (阪大・理・物理)

市岡 優典 (岡大・理・物理)

吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第 75 卷 第 4 号 (平成 13 年 1 月号) 2001 年 1 月 20 日 発行

発行人 関 本 謙 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

印刷所 昭和企業組合 〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側
昭和堂印刷所 TEL(075)721-4541~3

発行所 物性研究刊行会 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

会員規定

個人会員

1. 会費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお振込み下さい。

年会費 9,600円

1st Volume (4月号～9月号)

2nd Volume (10月号～3月号)

振替用紙は毎年2月号にとじ込んであります。振替用紙が必要な場合は、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都 01010-6-5312

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、すぐにご連絡下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく1年以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご注意下さい。

機関会員

1. 会費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円**です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類(請求、見積、納品書)が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に下記までご連絡下さい。

物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物 性 研 究 75-4 (1月号) 目 次

○講義ノート	
「第45回 物性若手夏の学校(2000年度)」(その2).....	563
○研究会報告	
「蛋白質-配列空間と構造空間におけるダイナミクス」.....	774
○修士論文(1999年度)	
剛体粒子系におけるエネルギー輸送の数値的・統計物理的研究村上 輝好.....	799
○掲示板.....	839
○編集後記.....	840

物性研究 75-4 (1月号) 目次

○講義ノート	
「第45回 物性若手夏の学校(2000年度)」(その2).....	563
○研究会報告	
「蛋白質-配列空間と構造空間におけるダイナミクス」.....	774
○修士論文(1999年度)	
剛体粒子系におけるエネルギー輸送の数値的・統計物理的研究村上 輝好.....	799
○掲示板.....	839
○編集後記.....	840